

松前町「ホッケーのまちづくり」について

松前町教育委員会社会教育課

1 はじめに

松前町では、「愛顔つなぐえひめ国体」においてホッケー競技の開催会場になったことにより、町民のホッケー競技への関心が高まった。これを機に、町民の関心を一過性に終わらせることなく、「ホッケーのまちづくり」を松前町総合計画の主要施策に定め、ホッケー競技を広く町民に浸透させ「ホッケーのまちづくり」を推進している。

2 事業の内容

ホッケー公園を拠点とし、中学生をターゲットにした交流大会の開催や、関西圏域の大学ホッケーチーム、パリオリンピック出場に向けて強化を図っているホッケー男子日本代表「サムライジャパン」等に直接交渉し、ホッケー場を利用してもらえるよう誘致活動を行っている。

また、広く町民にホッケーを普及させ、町全体でホッケーを通じたまちづくりを推進するために、松前町オリジナルホッケーを考案し、更なるホッケーの魅力を松前町から発信していく。



【松前町国体記念ホッケー公園ホッケー場】

(1) 南都銀行 SHOOTING STARS によるホッケーイベント

【実施日】：令和6年1月20日（土）参加者：170名

参加者は、町内小・中学校及び県内高校ホッケー部、愛媛ジュニアアスリートを対象とした。

女子ホッケー日本代表「さくらジャパン」に多くの選手を輩出した、実業団チームの有望選手とスタッフを町に招き、ホッケーの魅力や競技力向上の一貫として、町内の子どもたちを対象に技術指導をしていただいた。



【令和5年度ホッケーイベントの様子】

(2) 第5回中学生ホッケー交流大会「まさきカップ」

【実施日】令和6年3月9日（土）・10日（日）

小・中学生のジュニア世代をターゲットにした交流大会を実施した。令和元年度から開催し今大会で5度目の開催となった。参加チームは、中国、四国、九州及び関西圏域の7県（男子10チーム・女子6チーム）の中学生で、競技力向上と交流を深めることを目的としている。



【まさきカップの様子】

(3) 松前町エンジョイホッケー大会

【実施日】：令和6年3月16日（土）

町民が手軽に参加し、また、中高年の健康増進にもつながる、「松前町エンジョイホッケー大会」を開催した。1チーム3～5人とし、広く町民に呼び掛けたところ、友人、家族、職場等から30チーム、約130名の参加があった。

ピッチの大きさは、縦約12m×横約6mとし、出場できる選手は3名までとした。故意的（ボールを足で蹴る等）なラフプレーのみを反則とし、参加者にとって分かりやすく気軽なルールにすることで、参加者は和気あいあいと楽しくエンジョイホッケーをプレーしていた。

今後は、定期的な事業として実施していきたい。



【エンジョイホッケー大会の様子】

3 今後

ホッケー場は、年間延べ約1.2万人（令和4年度集計）が利用している。利用者がさらに集いやすい施設にするために、財政状況が厳しいところではあるが、今後補助金を活用し、付帯施設「管理棟」等の施設の充実を図っていきたい。

また、令和7年8月には、第55回全日本中学生ホッケー選手権大会を、松前町と香川県綾川町との共同開催を予定している。